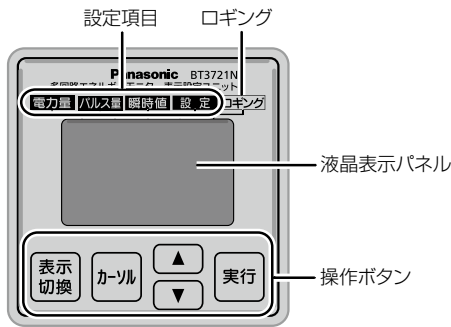


3-4 回路の設定

- 50～600A CTの設定 36頁
- /5A CT、5A CTの設定 37頁
- CT内蔵ブレーカの設定 38頁
- パルス入力の設定 38頁

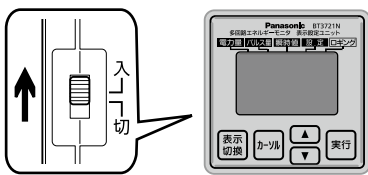
50～600A CT

[工場出荷時の設定:未設定]



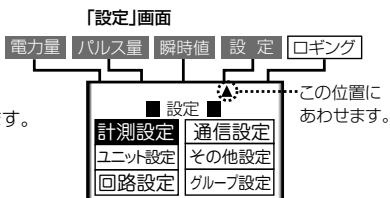
- ・工場出荷時は、すべての回路が「未設定」に設定されているので、CTを接続する際は定格電流の設定が必要です。
- ・回路No.ごとに、CT定格電流を設定してください。設定は、使用する回路すべてに必要です。

1 表示設定ユニットの電源を入れる



2 [表示切替]を押して「設定」にあわせる

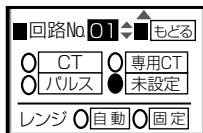
「設定」画面が表示されます。



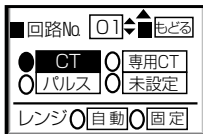
3 [カーソル]を押して「回路設定」を選び、[実行]を押す



4 [アップ/ダウン]を押して「回路 No.」を指定する



5 [カーソル]を押して「CT」を選び、[実行]を押す

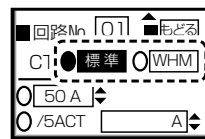


6 [カーソル]を押して「自動」を選び、[実行]を押す

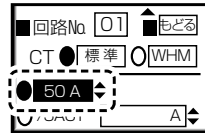


ご注意
・「自動」を選択してください。

7 [カーソル]を押して「標準」を選び、[実行]を押す

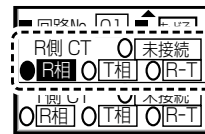


8 [カーソル]を押して上段の定格電流を選び、[アップ/ダウン]を押して定格電流を指定し、[実行]を押す



単相2線以外の設定の場合は、「手順11」に進んでください。

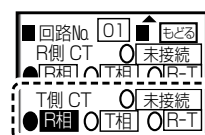
9 [カーソル]を押して「R側CT」を設定し、[実行]を押す



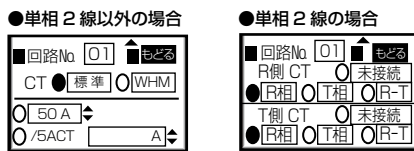
ご注意

・「R-T」は、電圧入力「単相3線式」で相線式の設定が「単相2線」の200V回路の場合に選択します。

10 [カーソル]を押して「T側CT」を設定し、[実行]を押す



11 [カーソル]を押して「もどる」を選び、[実行]を押す



「手順4～11」を繰り返し、使用する回路すべてを設定してください。

12 使用する回路すべてを設定後、[カーソル]を押して「もどる」を選び、[実行]を押す

「設定」画面に戻ります。
以上で50～600A CTの設定は完了です。

ご注意

・CTの定格電流設定を行った状態で実際にCTを接続していない場合は、ノイズなどの影響により電力量・電流・電力の値が「0」にならないことがあります。
CTが未接続の場合は回路の設定を「未設定」にしておいてください。
・600 A CT設定でご使用の場合、計測箇所電流部が強磁界と想定されるため計測仕様の許容誤差範囲を超えることがあります。

/5A CT、5A CT

[工場出荷時の設定:未設定]

- 工場出荷時は、すべての回路が「未設定」に設定されているので、CT を接続する際は定格電流の設定が必要です。
- 回路 No. ごとに、CT 定格電流を設定してください。設定は、使用する回路すべてに必要です。
- /5A CT は、別の CT と組み合わせた 2 段目として使用することを想定しており、初段の CT の定格一次電流を設定する必要があります。(31頁)
- 初段の CT の一次電流は、下記の電流値が設定できます。
5、6、7.5、8、10、12、15、20、25、30、40、50、60、75、80、100、120、150、200、250、300、400、500、600、750、800、1000、1200、1500、1600、2000、2500、3000、4000、5000、6000、7500、8000、10000、12000、20000、25000、30000 A

ご注意

- CTの定格電流設定を行った状態で実際にCTを接続していない場合は、ノイズなどの影響により電力量・電流・電力の値が「0」にならないことがあります。CTが未接続の場合は回路の設定を「未設定」にしておいてください。
- 初段CTの定格電流を「600 A」以上に設定する場合、計測箇所電流部が強磁界と想定されるため計測仕様の許容誤差範囲を超えることがあります。

- 600A CT をご使用の場合、または初段 CT の定格電流を「600A」以上に設定する場合、計測箇所電流部が強磁界と想定されるため計測仕様の許容誤差範囲を超えることがあります。強磁界対策のため、下表に従い多回路エネルギーモニタと計測箇所電源部を離して設置してください。

初段CTの 定格電流設定 (600A CTの場合)	多回路エネルギーモニタと計測箇所電源部との必要距離L※1	
	600A CT使用時 (BT37066KN)	/5A CT使用時※2 (BT3705WH)
600A(600A CT設定)	10cm以上	10cm以上
750A	—	
1000A	—	
1500A	—	
2000A	—	30cm以上
5000A	—	
8000A	—	50cm以上
10000A	—	70cm以上
20000A	—	1.2m以上
30000A	—	2.0m以上

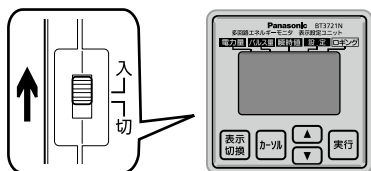
※1)CT定格電流値=計測箇所の最大電流値の場合。

※2)CTケーブル長さが10m以上の場合は、必ず品番末尾「WH」のCTケーブルとセットでご使用ください。

CTケーブル配線時のご注意

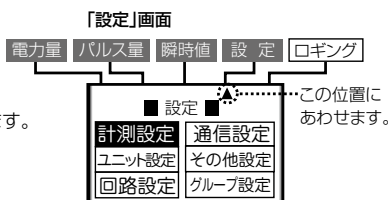
- 天井裏を通して配線する場合は、フレキシ管を通すなど「ケーブル保護対策」をしてください。(障害物や他のケーブルなどにより断線のおそれがあります)
- CTのリード線やCTケーブルについても高圧部に近づかないよう結束バンドなどで固定してください。

1 表示設定ユニットの電源を入れる

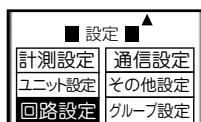


2 [表示切換]を押して「設定」にあわせる

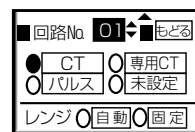
「設定」画面が表示されます。



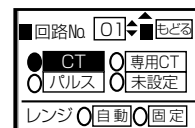
3 [カーソル]を押して「回路設定」を選び、[実行]を押す



4 [アップ/ダウン]を押して「回路 No.」を指定する



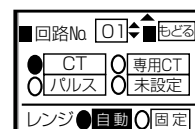
5 [カーソル]を押して「CT」を選び、[実行]を押す



6 [カーソル]を押して「自動」を選び、[実行]を押す

ご注意

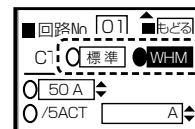
「自動」を選択してください。



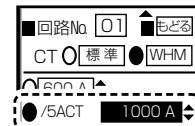
7 [カーソル]を押して「WHM」または「標準」を選び、[実行]を押す

ご注意

- 「WHM」は、BT3705WH(/5A CT)の場合に選択します。
- 「標準」は、BT3705(5A CT)の場合に選択します。



8 [カーソル]を押して下段の定格電流を選び、[アップ/ダウン]を押して定格電流を指定し、[実行]を押す



単相 2 線以外の設定の場合は、「手順 11」に進んでください。

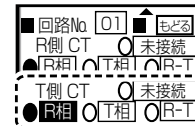
9 [カーソル]を押して「R側 CT」を設定し、[実行]を押す

ご注意

- 「R-T」は、電圧入力が「単相3線式」で相線式の設定が「単相2線」の200V回路の場合に選択します。



10 [カーソル]を押して「T側 CT」を設定し、[実行]を押す



11 [カーソル]を押して「もどる」を選び、[実行]を押す

●単相 2 線以外の場合



●単相 2 線の場合



「手順 4 ~ 11」を繰り返し、使用する回路すべてを設定してください。

12 使用する回路すべてを設定後、[カーソル]を押して「もどる」を選び、[実行]を押す

「設定」画面に戻ります。以上で /5A CT、5A CT の設定は完了です。

概要編

多回路エネルギー
モニタ

設定編

エネルギー
S

商品編

デマンド
ウォッチャー

商品編

LAN
対応

商品編

電カメ
ター

商品編

システム
編

付録

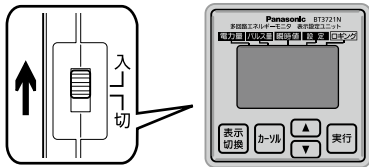
3-4 回路の設定

CT内蔵ブレーカ

[工場出荷時の設定:未設定]

- 工場出荷時は、すべての回路が「未設定」に設定されているので、ブレーカを接続する際は「専用CT」の設定が必要です。
- 回路No.ごとに、「専用CT」を設定してください。設定は、使用する回路すべてに必要です。
- 「専用CT」は単相2線以外の設定はできません。

1 表示設定ユニットの電源を入れる

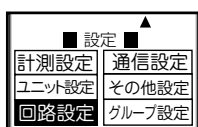


2 [表示切換]を押して「設定」にあわせる

「設定」画面が表示されます。



3 [カーソル]を押して「回路設定」を選び、[実行]を押す



4 [アップ/ダウン]を押して「回路No.」を指定する



5 [カーソル]を押して「専用CT」を選び、[実行]を押す



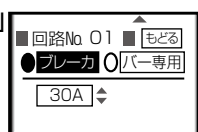
6 [カーソル]を押して「自動」を選び、[実行]を押す

ご注意
・「自動」を選択してください。



7 [カーソル]を押して、「ブレーカ」を選び、[実行]を押す

ご注意
・定格電流は「30A」固定です。

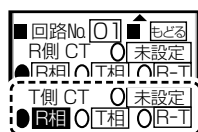


8 [カーソル]を押して「R側CT」を設定し、[実行]を押す

ご注意
・「R-T」は、相線式の設定が「単相2線」で200V回路の場合に選択します。

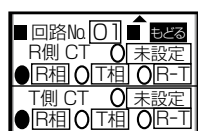


9 [カーソル]を押して「T側CT」を設定し、[実行]を押す



10 [カーソル]を押して「もどる」を選び、[実行]を押す

「手順4~9」を繰り返し、使用する回路すべてを設定してください。



11 使用する回路すべてを設定後、[カーソル]を押して「もどる」を選び、[実行]を押す

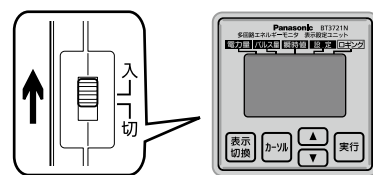
「設定」画面に戻ります。以上でCT内蔵ブレーカの設定は完了です。

パルス入力

[工場出荷時の設定:未設定]

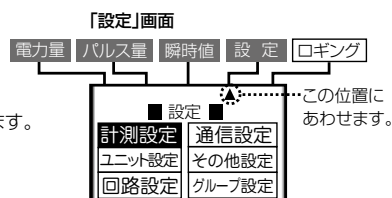
- 工場出荷時は、すべての回路が「未設定」に設定されているので、パルス入力する際は「パルス」の設定が必要です。
- 回路No.ごとに、「パルス」を設定してください。設定は、使用する回路すべてに必要です。
- 「単位」は、「パルス」、「kg」、「kWh」、「Wh」、「m³」、「cal」、「kcal」、「L」、「kL」、「J」、「円」が設定できます。
- 「重み」は、0.1～6553.5(0.1単位)の範囲で設定できます。
- 三相4線ユニットは「パルス」の設定ができません。
- BT3802で電力に使用できる単位は「kWh」のみです。

1 表示設定ユニットの電源を入れる

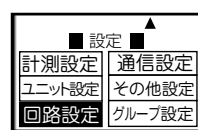


2 [表示切換]を押して「設定」にあわせる

「設定」画面が表示されます。



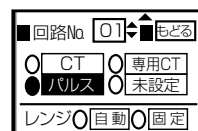
3 [カーソル]を押して「回路設定」を選び、[実行]を押す



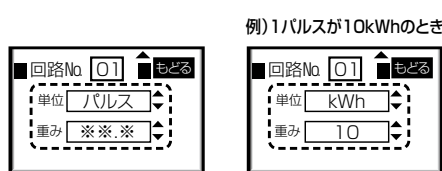
4 [アップ/ダウン]を押して「回路No.」を指定する



5 [カーソル]を押して「パルス」を選び、[実行]を押す

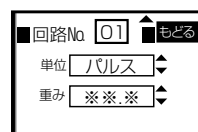


6 [カーソル]を押して「単位」または「重み」を選び、[アップ/ダウン]を押して指定する



7 [カーソル]を押して「もどる」を選び、[実行]を押す

「手順4~7」を繰り返し、使用する回路すべてを設定してください。



8 使用する回路すべてを設定後、[カーソル]を押して「もどる」を選び、[実行]を押す

「設定」画面に戻ります。以上でパルスの設定は完了です。

概要編

多回路エネルギーモニター

設定編

エネルギー

商品編

デマンドウオッチャー

商品編

LAN対応ユニット

商品編

電力メーターユニット

商品編

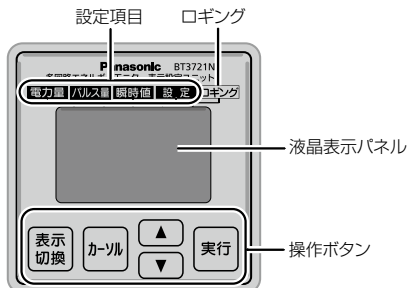
システム編

付録

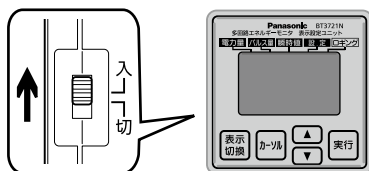
3-5 グループの設定

グループの設定

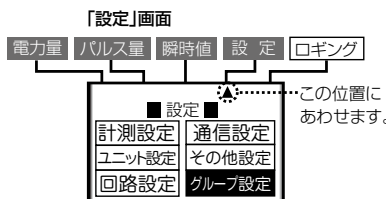
- 工場出荷時は、グループ設定は「無効」です。グループ設定を使用する場合は「有効」に設定してください。
- グループごとに、回路 No. と演算子を設定してください。設定は、登録するグループ全てに必要です。
- グループの組み合わせ条件については 15頁をご参照ください。



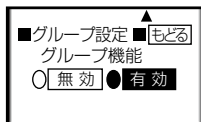
1 表示設定ユニットの電源を入れる



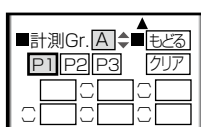
2 [カーソル]を押して [グループ設定]にあわせて [実行]を押す



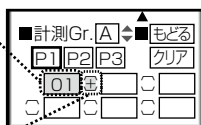
3 [カーソル]を押して [有効]を選び [実行]を押す



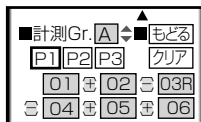
4 [アップ/ダウン]を押して [計測 Gr. ※※]を指定する [カーソル]を押して [P1]にして [実行]を押す



5 [アップ/ダウン]を押して [回路 No. ※※]を指定する [カーソル]を押して [アップ/ダウン]を押して、 [+][-]を指定します



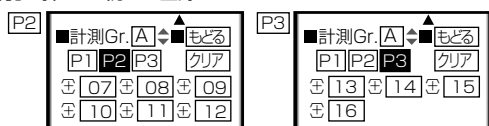
6 [カーソル]を押して、使用する回路全てを登録し、 [実行]を押す 使用するグループ全てを設定します [カーソル]を押して [計測 Gr. ※※]にします



7 [カーソル]を押して「もどる」を選び、 [実行]を押す 「設定」画面に戻ります。 以上でグループの設定は完了です。



※ [P1]画面の登録数を越える場合は、 [実行]を押して、[カーソル]を [P2] [P3]画面に合わせて [実行]を押して、続けて登録してください

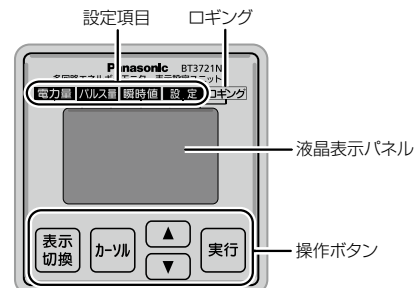


グループ設定のクリア

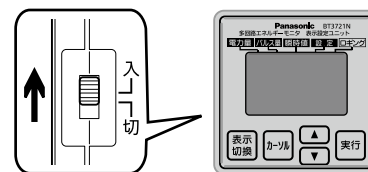
- グループの登録のやり直しやグループを解除したい場合に、グループごとに設定を消去できます。

ご注意

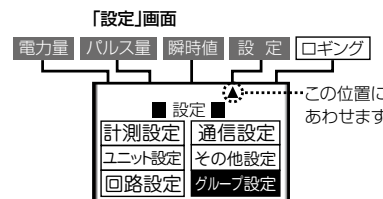
- 設定を消去すると、そのグループのデータはクリアされます。ただし、グループに登録されている個別回路のデータはクリアされません。



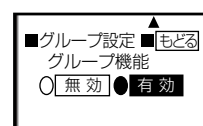
1 表示設定ユニットの電源を入れる



2 [カーソル]を押して [グループ設定]にあわせて [実行]を押す



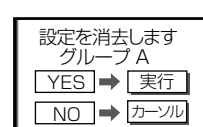
3 [カーソル]を押して [有効]を選び [実行]を押す



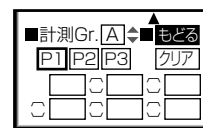
4 [アップ/ダウン]を押して [計測 Gr. ※※]を指定する [カーソル]を押して [クリア]にあわせて [実行]を押す



5 [実行]を押すと、設定を消去します [カーソル]を押すと、設定を消去せず 前画面に戻ります クリアするグループ全てを設定します。



6 [カーソル]を押して、 「もどる」にあわせ [実行]を押す



「設定」画面に戻ります。 以上でグループのクリアは完了です。

概要編

モニター
多回路エネルギー

設定編

エネルギー
S

商品編

デマンド
ウォッチャー

商品編

LAN
対応

商品編

電カメ
ター

商品編

システム
編

付録